

吉本・安倍・維新の癒着 清水さんが斬る

清水忠史衆院議員は、14日に兵庫県民会館で行われた「第49回メディアを考えるつどい」で「吉本興業と安倍官邸・維新の会～その笑えぬ癒着～」を演題に講演しました。清水さんのフェイスブックからその模様を紹介します。「つどい」は350人で満席でした（写真）。

維新政治打ち破ろう

テーマは、この間、闇営業問題に揺れた吉本興業と安倍官邸、維新の会とのただならぬ関係について、その背景を浮き彫りにするというものでした。元松竹芸能の芸人という立場から、闇営業問題についてインタビューを受けた「しんぶん赤旗」記事がきっかけとなり、今回、講演依頼を受けました。

安倍政権の日本再興戦略の一環として創設された官民ファンドのクールジャパン機構は、吉本興業が参画する複数の事業に対し、これまで172億円もの出資を決定しています。安倍首相は今年4月、大阪にある吉本の常設劇場、なんばグランド花月に登壇して世間を驚かせました。6月には吉本芸人たちが首相官邸を訪問しています。

この間の堺市長選挙で、吉本芸人たちが維新の会の候補を応援していたのは有名な話。維新が市長を務める大阪市は、吉本興業と包括連携協定を結んでいます。吉本興業、安倍官邸、維新の会、この三者が、どのような思惑で結びついているのかを外形的現象から浮き彫りにし、その背景に迫っていくことが講演の中心課題でした。

参加された皆さんから「よく分かった」「面白かった」「もっと聞きたかった」「大阪でもやってほしい」などの感想をいただくことができましたので、ホッとしています。なお、この日の講演内容は、ブックレットになるかも知れませんが、その時にはアナウンスさせていただきます。

大阪、兵庫など近畿では維新の会の支持は依然として高いものがあります。維新の牙城とも言える大阪でこそ、維新政治を打ち破らなくてはなりません。きたる総選挙での勝利はもちろん、3年後の参院選でたつみコータローさんを勝利させるためには、その時が来てからではなく、今のうちからこの仕事に打ち込まなくてはならないと覚悟しています。

大阪市廃止の「都構想」ノー、カジノ賭博場誘致反対、府民の中に分断と対立を持ち込み、新自由主義的な競争原理を行政に持ち込む維新政治を打ち破るために、力を合わせましょう。

滋賀・豊郷町 24年ぶりの3議席、議会招集権獲得



20日投開票の滋賀県豊郷町議選（定数12、立候補14）で共産党は高橋直子、鈴木勉市（以上現）、今村恵美子（元）の各氏が当選。1議席増で24年ぶりの3議席となり、議会招集権を獲得しました。今回の定数下での3議席は初めてです。

得票は704票（19.44%）で前々回比（前回は無投票）138票増、得票率は6.18%増、参院比例票の2.52倍です。3氏は保育所・幼稚園の待機児解消や給食費の無料化、高すぎる保育料の無料化を訴え。清水忠史衆院議員、宮本岳志前衆院議員が応援に入りました。

京都・精華町議補選 定数2で当選

20日投開票の京都・精華町議選（定数2）で共産党の坪井久行さん（元）は4043票（33.71%）で当選。党議員団は4人となりました。町長選は「民主町政の会」の竹川ますおさんは22%を獲得しましたが及びませんでした。

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 27(2019.10.21)